

わごころ通信

発行日：令和6年3月1日
発行元：尾鷲市社会福祉協議会
尾鷲市栄町5-5 Tel.22-3246
HP:<http://www.owasewel.com>
E-mail:info@owasewel.com

『わごころ通信』は、地域全体で生活を支える地域包括ケアの深化に向け、生活支援の体制をどのように整えていくか、この地域の取り組み状況や取り組み内容を生活支援コーディネーターの活動と併せて紹介しています。第10号では輪内地区で取り組んでいる買い物支援「いこらい」の実施状況と、健康寿命について考える講演会の様子についてお伝えさせていただきます！

輪内買い物支援

「いこらい」

町内の商店の減少や運転免許を手放すなど、買い物の手段が不足しつつある輪内地区での買い物ニーズの補助的な充足を目的に、**輪内買い物支援「いこらい」**を実施しています。

「いこらい」は、尾鷲社協のマイクロバスを使い、月1回、市街地のスーパーなどのお店に行く買い物ツアーで、普段買えないものを買に行く買い物支援として、また「自分で見て買う」、「他の人と一緒に出掛ける」という楽しみを支援する外出支援として、地域のニーズに応えていけるよう取り組んでいます。バスには町内の有志の方が添乗ボランティアとして同行し、バスの乗降や配送サービスの手配などをサポートしてくれます。参加者の方たちも、よく知っている人なので気軽に声を掛けやすいようです。地域の皆さんと一緒に話し合いながら、令和4年度には曾根・梶賀地区で、

令和5年度には古江地区で実施を開始しました。そして新たに、九鬼地区から買い物について一緒に考えたいと声上がり、地域住民やボランティア有志の皆さんと協議を重ね、令和6年4月から実施を目指して、現在実証実験をしています。



添乗ボランティアさんが乗降や配送をサポート



これからも地域の皆さんと一緒に！

参加された方たちは、生活用品や衣料品、他にも花など、普段の買い物では揃いづらく自分で見て選びたいものを購入される方も多く、また買い物が終わったあとは休憩スペースやバスの中で談笑されるなど、買い物支援・外出支援として効果が期待できると感じています。

これからも、買い物の“手段のひとつ”として、既存サービスや地域での助け合いとの共存を大切にしながら、地域の方々と話し合っ、一緒に取り組んでいきたいと思ひます。



買い物後は皆でおしゃべり休憩

つながりと社会参加で健康寿命を延ばそう！

住み慣れた自宅で自立した生活を送り続けるためには、健康で元気な期間、つまり健康寿命を延ばすことが大切です。そんな健康寿命についての講演会を、「わがらの町の“暮らし”ささえ合い塾」の第1回講座の中で開催しました。講師には、全国で地域のつながりやささえ合いなどについての講演をされている、ご近所クリエイターの酒井保さんをお招きして、健康寿命を延ばすためには、ふれあいサロンやボランティア活動等の地域活動のような**つながる場**を維持し、そこに役割を持って参加する社会参加を続けていく地域づくりが大切であることをお話ししていただきました。

酒井さんはユーモアにあふれつつも大事なことはしっかりと伝えるように話しをされ、参加された方たちは、ときに笑いながら、ときに真剣な面持ちで、興

味深く酒井さんのお話を聞いていました。終了後のアンケートでも、

つながりや社会参加の大切さがわかったという声や、地域や自分の暮らしぶりを改めて考えてみるというような声をいただき、皆さんの中に残るものが多い講演会になったのではないかと思います。



ご近所福祉クリエイター

さかい たもつ
酒井 保さん

一緒に地域づくりを考えましょう！

私たち生活支援コーディネーターも、皆さんと話し合い、相談に乗りながら地域づくりを後押しします！
よろしくお願いします！

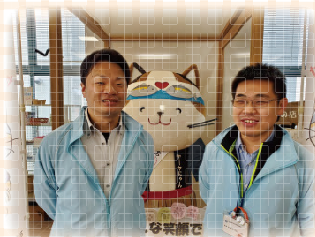


今年度のふりかえり

今年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い様々な規制が緩和され、休止していた地域活動や行事の再始動に努めた1年でした。規制は緩和されたものの、不安な気持ちをすぐに切り替えることは難しく、なかなかコロナ前と同じようにとはいかないことも多くありました。しかし、地域の皆さまの話の中には、「またサロンをやり始めた」や「(コロナを)気にしすぎてもしょうがない」という声を聞くこともありました。

また、コロナ禍でもできるゲームとして始まった百寿雀サロンは、実施地区や参加人数が少しずつ増加していて、サロンの催しとして根付いてきたのではないかと感じています。

すべてが元通りとはいかずとも、少しずつ前に進みながら、これからも皆さまと一緒に地域づくりを実践していきたいと思っています！



…わごころ通信に関するお問合せは…

担当：尾鷲市社会福祉協議会 地域福祉課 総務・福祉係 Tel.22-3246 まで